

# 多元文化論系「科目登録ガイダンス」資料（新2年生用）

## 1. 登録全般について

- ・ 「2014 年度科目登録の手引き」を熟読し、登録手続きを行ってください。

## 2. 演習および講義の履修について

- ・ 半期に登録できる専門演習には上限があります。各自きちんと確認した後に登録してください。
- ・ 新2年生は秋期初めにゼミか卒業研究のどちらかを選択することになります。

2014 年度のゼミ・卒業研究ガイダンスは 9月24日（水） に開催されます。

- ・ ゼミと卒業研究についての留意点を以下に示します。

### 【ゼミ志望者】

ゼミによっては、面接・成績等による選抜試験が行われる場合があります。ゼミの選択を考えている学生は、ゼミ担当教員の演習や講義を事前に受講しておくことが望ましく思われます。ゼミを選択する前に、教員の専門分野や関心を知っておくことは、ゼミに入る事前準備となるだけでなく、各自の興味や相性を確認する意味でも有意義です。

### 【卒業研究志望者】

卒業研究の指導教員は3年秋期初めに希望を出すことができます。他論系や文学部の各コース所属専任教員の指導を希望する場合は、その先生の演習や講義を今の段階から積極的に受講し、あらかじめ人間関係を築いておくと良いでしょう。ただし、ゼミ・卒研・卒論の指導人数には上限が定められているので、その点も確認が必要です。

### 【共通】

「日本史・世界史再発見」のオムニバス授業（多元文化論系の複数の教員によるリレー形式）は、さまざまな視点から歴史と文化を捉え直す授業内容となっています。ゼミ選択に迷っている学生にとっても、多元文化論系の教員に幅広く触れる機会となりますので、履修をお薦めします。

## 3. 5つのプログラムについて

- ・ 別紙「プログラム紹介」を参照してください。

## 4. 実験実習料について

- ・ 半期 2000 円の実験実習料を、学費と同時に自動徴収しています。この費用は、論系室における学習支援（PC 利用、学習図書資料の拡充など）のほか、校外実習補助（例：美術館訪問、観劇など）、卒研選択者へも複写代や参考図書購入、製本の補助として還元されます。

## 5. 2年生懇親会について

- ・ 2014年度は5月14日（水）の5時限に開催が予定されています。お菓子や飲み物を囲み、多元文化論系専任教員や論系の先輩・同期の学生と交流を深められる良い機会です。ゼミ・卒研選択のための情報も収集できるので、ぜひ参加してください。

## 6. 留学予定の方へ

- ・ 多元文化論系では、留学者への支援を積極的に行っております。単位振替などがスムーズにできるよう、留学前に論系運営主任との面談を実施します。留学予定者は、必ず論系室の助手にその旨を伝えて、留学前面談を受けてください。

## 7. 論系室について

- ・ 論系室には学生用 PC（Windows 3 台、Mac 1 台）、プリンターのほか、辞書やデータベースなども整備されています。科目登録以外にも、多岐にわたる質問を随時受け付けますので、気軽に来室してください。特殊な場合を除いては、アポイントの必要もありません。
- ・ 助手（梅宮悠・似鳥雄一）、助教（川浩二）が交代で論系室には在室しており、必要に応じて論系運営主任への相談を組むことも可能です。

## <多元文化論系室>

開室時間：12:00～19:00（月～金）＊2014年度は新体制になりますので、詳細は HP をご確認ください。

場所：33 号館（高層棟）9 階 906 号室

電話：03-5286-2979

HP： [http://www.waseda.jp/trns\\_cult/](http://www.waseda.jp/trns_cult/)

メール： [sdc.admin2007@gmail.com](mailto:sdc.admin2007@gmail.com)

Twitter： <https://twitter.com/TagenBunka>